

# 3年生「社会科\_昔の道具とくらし」(札幌市幌西小学校)

札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としています。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっています。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

## ■実施例

実施校 札幌市立幌西小学校

実施日 2014年8月26日（火） 5校時

科目/单元名 社会科  
「昔の道具とくらし」[9時間扱い 本時 7/9]

指導者 伊藤健太郎

## 【指導計画】

### 1.教材にかかわって

#### ①学習指導要領の位置づけ

[小学校学習指導要領解説 社会編]

##### ●目標

(2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

##### ●内容

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

◆古くから残る暮らしにかかわる道具を使っていたころの人々の暮らしの様子を取り上げ、地域の人々の生活が変わってきたことを具体的に調べる。

◆現在の自分たちの生活は祖先の努力の上に成り立っているという歴史的背景に関心をもつようにする。

#### ②モビリティ・マネジメント教育の視点から

事前に、本校の4年生のある学級の子どもたちに、聞き取り調査を行った。31人中3人の子どもたちが「けっこうたくさん」、16人の子どもたちが「時々」、市電を利用していると答えた。利用目的は、買い物や塾・習い事といったことであるので、3年生であっても大きく実態は変わらないと考えた。本校の校区は、市電、バス、地下鉄の公共交通機関を比較的に利用しやすい場所である。

つまり、公共交通機関を身近に感じている子どもたちが多いと考える。だが、「あって当たり前」であり、あえてそれらのよさを感じたり、公共交通機関の社会的役割や価値に気付いたりする機会はほとんどない。このような環境に置かれている子どもたちであるからこそ、MM教育を行う価値がある。この学習を通して、将来的に、自動車と公共交通をかしこく使い分け、自分の移動（モビリティ）を社会的に望ましい方向へ自発的にシフトしていく力（素地）を養っていきたい。

そのために、本单元では、市電（路面電車）を取り上げる。一時は総延長25kmもの距離を誇り、札幌市民の足として重要な役割を果たした市電であるが、今は地下鉄開通などにより8kmに縮小されてしまっている。それでも、延伸そしてループ化が決定し、今改めて市電の価値が見直されているところである。昔の人々の生活の様子を学習する単元に組み込むことで、市電の誕生が、人々の生活がどのように変わったのか、またそれがどのように受け継がれ今に残っているのか、札幌市の市電の特徴と人々の生活の変遷を学びながら、マイレール意識も高めていきたい。

#### ③資料の活用

今回、「札幌らしい交通環境学習フォーラム」で使用したテキストを活用する。3年生でも理解しやすいように作られているので、学習の中心資料となり得る。




子どもたちにとって、初めての歴史的な学習内容であることを考慮し、当時のまちの様子や、人々の生活の様子のイメージがつかめるように、実物や記録写真なども活用するようにする。

## 2.単元にかかわって

### ●単元の目標

- ・学校や家庭、地域にある昔の道具に関心を持ち、意欲的に調べている。
- ・地域の人々の生活の今昔の違いや変化、人々の生活の知恵を考え、適切に表現している。
- ・年表にまとめたり、年表を活用したりして、時間の経緯に沿った道具や暮らしの移り変わりを整理している。
- ・古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子を理解している。

### ●単元の構成

	子どもの主な活動	子どもの主な活動																								
学校の資料室調べと聞き取り調査【1時間】	<p>昔の道具にはどのようなものがあるのだろう。</p> <p>学校の資料室の中の昔の道具を調べてみよう！</p> <p><b>生活用具</b></p> <p>蓄音機写真      真空管ラジオの写真      磁石式電話機の写真</p> <p>何に使ったのか調べてみたいな。      今では使われなくなった道具がたくさんあるね。      おうちの人にも聞いてみよう。</p> <p><b>昔の道具から、そのころの暮らしの様子</b>がわかりそうだね。</p>	<p>交通の発達によって、人々の生活はどのように変わっていったのだろう。</p> <p>●馬車鉄道と市電</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100年前には馬車鉄道が走っていた</li> <li>・石を運ぶ目的でつくられた</li> <li>・1912年からは乗客ものせる</li> </ul> <p> <b>札幌で最初の公共交通が誕生！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1918年に札幌電気軌道により路面電車が開業</li> <li>・1927年札幌市が札幌電気軌道を買取り、「札幌市電」が誕生。</li> </ul> <p> <b>だんだんと馬鉄から市電に変わってきた</b></p> <p><b>生活はどう変わる？</b></p>																								
	<p>道具の変化によって、人々の生活はどのように変わっていったのだろう。</p> <p><b>【暖房のための道具】</b></p> <p>まきストーブ → 石炭ストーブ → 灯油ストーブ → パネルヒーター</p> <p>火をつける準備や後片付けが大変そうだね。      お湯をわかすこともできただんだね。      灯油ストーブになって、楽に使えるようになったね！</p> <p><b>【洗濯のための道具】</b></p> <p>洗濯板 → ローラー式洗濯機 → 二層式洗濯機 → 全自動洗濯機</p> <p>一枚一枚洗うのは大変そう。      洗濯が力仕事だったんだ！      二層式になって便利になった！</p> <p><b>【食事のための道具】</b></p> <p>おかま → 七輪 → 電気がま → 炊飯器</p> <p>火加減を整えるのが大変そう。      後始末も大変そうだね。      ボタン一つで便利になった！</p> <p><b>道具が変化することで、人々の生活は</b>楽で便利に変わっていったんだね。</p>	<p>●馬車鉄道が市電に変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より速く目的地に行けるようになった。</li> <li>・たくさんのお客さんを運べるようになった。</li> <li>・街の中の汚れが少なくなった。</li> </ul> <p> <b>50年前の車両もまだ走っている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25kmの路線が8kmになったけど、また長くなるよ。ループ化だって。</li> </ul> <p><b>交通機関の発達によって、移動がしやすくなり、くらしやすいまちになったね。</b></p>																								
昔の道具と人々のくらし【3時間】	<p>道具やくらしのうつり変わりを年表にまとめると、どのようなことがわかるだろう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>いつ</th> <th>70年ほど前</th> <th>50年ほど前</th> <th>…</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">道具</td> <td></td> <td>まきストーブ</td> <td>洗濯板</td> <td>ローラー式洗濯機</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電気がま</td> </tr> <tr> <td>くらし</td> <td></td> <td>火をつけるのも洗濯するのも、時間がかかる</td> <td>機械ができて、少しずつ家事が楽になってきた</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通</td> <td></td> <td>市電が市民の足になっていた</td> <td>車が増えて、渋滞が大きな問題に…</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>年表にまとめると、道具やくらしの変化がよくわかるね。</b></p>		いつ	70年ほど前	50年ほど前	…	道具		まきストーブ	洗濯板	ローラー式洗濯機				電気がま	くらし		火をつけるのも洗濯するのも、時間がかかる	機械ができて、少しずつ家事が楽になってきた		交通		市電が市民の足になっていた	車が増えて、渋滞が大きな問題に…		<p>年表で表すくらしのうつりかわり【2時間】</p>
	いつ	70年ほど前	50年ほど前	…																						
道具		まきストーブ	洗濯板	ローラー式洗濯機																						
				電気がま																						
くらし		火をつけるのも洗濯するのも、時間がかかる	機械ができて、少しずつ家事が楽になってきた																							
交通		市電が市民の足になっていた	車が増えて、渋滞が大きな問題に…																							

### 3. 本時の目標と学習展開

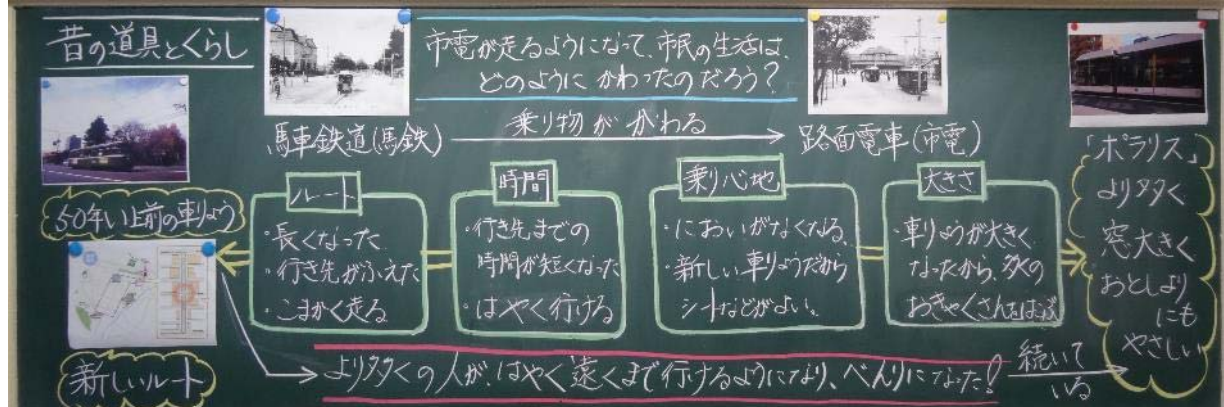
#### ●目標

- ・市電の開通による市民生活の変化を考える活動を通して、市電が果たしてきた役割に気づき、公共交通機関が充実している札幌市のよさを適切に表現することができる。(思考・判断・表現)

#### ●展開

学習展開	教師のかかわり				
<p>(前時まで) 明治時代に馬鉄が、大正時代に市電が走り始めたことを学んできている。また、それぞれの乗り物の特徴やルートなどについても調べている。</p>  <p>1912年からは、人も乗り始めた馬 1918年には、路面電車が開通。</p> <p>馬鉄から市電へ</p> <p><b>市電が走るようになって、市民の生活はどのように変わったのだろう。</b></p> <p>乗り物が変わることで</p> <table border="1"> <tr> <td> <b>ルート</b>                      ・長くなった。                      ・行き先が増えた。                      ・細かくなった。                 </td> <td> <b>時間</b>                      ・行き先までの時間が短くなった。                      ・速く行ける。                 </td> <td> <b>乗り心地</b>                      ・においがなくなる。                      ・新しい車両だからシート等がいい。                 </td> <td> <b>大きさ</b>                      ・大きくなったから多くのお客さんや荷物が乗れる。                 </td> </tr> </table> <p>便利になった＝道具の時と同じだ！</p> <p>新しい乗り物に変わると、とてもべんりになっていくんだね。さらに、地下鉄もできて便利になるよね。</p>  <p>50年前の車両も走っているよ。＝大切に乗り続けているんだよ。電車だなあという感じがするね。</p> <p>ちょっとだけ、路線ものびるんだよ。</p> <p>去年から新しい車両も走っているよ。＝お年寄りや子どもにも乗りやすいよ。よりよくなったね</p> <p>もっと便利になるよね。</p> <p><b>市電が走ることで、より多くのお客さんが、短い時間で遠くまで移動できるようになり、便利になったね。今、さらに便利になるような取組も続けられているね。</b></p>	<b>ルート</b> ・長くなった。 ・行き先が増えた。 ・細かくなった。	<b>時間</b> ・行き先までの時間が短くなった。 ・速く行ける。	<b>乗り心地</b> ・においがなくなる。 ・新しい車両だからシート等がいい。	<b>大きさ</b> ・大きくなったから多くのお客さんや荷物が乗れる。	<p>教師のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の2時間をふりかえり、馬鉄に続いて市電が走るようになったことを確認する。</li> <li>・馬鉄から市電に変わったことから、市民生活の変化を考えるようにする。</li> <li>・市電に変わることによって便利になったことを、分類し黒板にまとめる。</li> <li>・市電が大切な公共交通であることと、ループ化・新しい車両からより便利にという価値に気付かせていく。</li> <li>・本時のまとめをする。</li> </ul>
<b>ルート</b> ・長くなった。 ・行き先が増えた。 ・細かくなった。	<b>時間</b> ・行き先までの時間が短くなった。 ・速く行ける。	<b>乗り心地</b> ・においがなくなる。 ・新しい車両だからシート等がいい。	<b>大きさ</b> ・大きくなったから多くのお客さんや荷物が乗れる。		

板書計画



昔の道具とくら  
馬車鉄道(馬鉄) → 市電が走るようになって、市民の生活はどのようにかわったのだろう? → 路面電車(市電)

乗り物が変わる

<b>ルート</b> ・長くなった ・行き先が増えた ・こまかく走る	<b>時間</b> ・行き先までの時間が短くなった ・はやく行ける	<b>乗り心地</b> ・においがなくなる ・新しい車両だからシート等がいい	<b>大きさ</b> ・車両が大きくなったから、多くのお客さんや荷物が乗れる
---	---	--	---

50年以前の車両  
新しいルート  
→ より多くの人が、はやく遠くまで行けるようになり、べんりになった! 続いて

「ポラリス」  
 より多く  
 突大きく  
 おとし  
 にも  
 やさい

## 4.本時で活用する資料と本時の様子

### ●本時で活用する資料

		
<p>前時までに使った資料</p>	<p>公共交通テキスト</p>	<p>車両の写真とループ化の地図</p>

### ●本時の様子



### [本時の板書]

